

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ポプラ保育園	種別：認可保育園	
代表者氏名：山下 陽一	定員（利用人数）：50 名	
所在地：〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-25-11		
TEL：045-382-4523	ホームページ： https://popura-hoikuen.com/popura/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2006年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：NPO法人ポプラの会		
職員数	常勤職員：12 名	非常勤職員：9 名
専門職員	（専門職の名称）：名	栄養士：3名
	保育士：17名	調理師：1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0歳児室	設備：厨房
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：沐浴室
	居室：3歳児～5歳児室	設備：事務室
		設備：乳児用トイレ
		設備：幼児用トイレ
		設備：車椅子用トイレ
	設備：職員用トイレ	
	設備：園庭	

③理念・基本方針

<保育理念>

子ども一人一人を大切にし、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を目指す

<保育方針>

豊かな人間性を持った子どもを育成する。

<保育目標>

1. 丈夫な体を作る
2. 豊かな心を育てる
3. 感覚器官を磨く
4. 生活リズムを整える
5. 言葉を獲得する
6. 仲間とともに喜び合う
7. 資源を大切にする

④施設・事業所の特徴的な取組

<保育姿勢>

- 良質な水準かつ適正な内容の保育・教育の提供を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指す。
- 保育・教育の提供にあたっては、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するため、利用する子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するように努める。

<園として大切にしていること>

- 発達に応じた学び
- 一方的になにかを教えられるのではなく、子どもに自然に備わった五感を働かせて体験して得ること、それが学習の第一歩ととらえる。
- 日常生活や遊び、絵本の読み聞かせなどの中にある多様なチャンスを生かして、子どもたちが獲得していくべき、言葉や文字を使う力、絵を描く力、数や図形を理解する力をはぐくみたいと考えている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年10月08日（契約日） ～ 2023年02月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

⑥総評

【ポブラ保育園の概要】

●ポブラ保育園は、開園時は無認可保育所としてスタートしましたが、保育の実績が認められて、平成10年8月に横浜保育室として認証を受け、さらに平成18年4月に認可保育所となりました。認可保育所を目指す過程において、ポブラ保育園の運営基盤を確立するために、平成15年10月に、「NPO法人 ポブラの会」（以下、法人という）を職員と保護者有志で立ち上げました。運営主体も固まったポブラ保育園に対して、入園を希望する保護者が相次ぎ、面積の関係から待機してもらわざるを得ない状況が続きました。「ポブラ保育園の保育を受けたい」という保護者の要望に応えられる方策を模索していたところ、近隣の篤志家から一戸建て住宅提供の話があり、これを受けて平成27年に姉妹園としてポブラ第二保育園を開園しました。法人は、現在この2園体制で運営しています。

●ポブラ保育園は、相鉄線鶴ヶ峰駅南口より約160mの所に位置しています。保育園は、4階建てのマンションビル（平成16年3月築。鉄骨造り）の1階と2階を園舎としています。同マンションビルの敷地境界部分から北側は近隣商業地域、南側（鶴ヶ峰一丁目）は第一種住居地域と、用途地域の丁度境目に位置しています。その為、近隣は一戸建て住宅、マンションであり商業施設はありません。他方、北側は、広大な自転車駐輪場が設けられ、建造物がありません。園舎付近は、駅近くではあっても、(1)歩行者が頻繁に通る道ではない、(2)すぐ隣に商業店舗はない、(3)自動車の通行が少ない、という特徴があるため、比較的平穏な環境が保たれています。

●園舎の1階は0歳児・1歳児・2歳児のスペースとし、独立した保育室ではなく、ワンフロアの空間をローパーテーションで仕切って活用しています。2階は3歳児～5歳児のスペースとなっています。スライディングウォールも設置していますが、多くの場合、ワンフロアをみんなで共用して活動しています。1階の壁面はガラス貼りで明るく、2階部分にも十分な太陽光が入り、子どもたちはのびのびと過ごしています。

◇特長や今後期待される点

1. 【子ども一人ひとりを大切にした保育の実践】

ポプラ保育園の保育理念は、「子ども一人ひとりを大切に（する）」を掲げており、これをしっかりと実践できているところがポプラ保育園の特長と言えます。ポプラ保育園における「子ども一人ひとりを大切に（する）」とは、担任保育士が、自分のクラスの子どものみを大切にすることではなく、全ての保育士が、全ての子どもたちの名前、年齢（月齢）、性格等を把握し、どの子どもに対しても温かく見守っていくことです。一人の保育士が多くの子どもの目を配っていると、一人ひとりの子どもに関わる時間、程度が下がってしまうようにも思えますが、実はその逆で、子どもからすれば、担任保育士だけでなく、どの保育士からも名前前で呼んでもらえる、声をかけてもらえる、自分のことを見てくれている、という安心感、包容感を子どもたちは得ています。

2. 【子ども・保護者への安定感】

ポプラ保育園では、全ての保育士が、上述のような姿勢で子どもたちに接しているため、子どもたちは、その包容感を表情や態度、言葉で保護者にも伝えます。朝、喜んで保育園に行こうとする、お迎えの時に朗らかな表情をしている等の様子から、保護者は、子どもが保育園生活を楽しんでいることを感じています。保護者アンケートの自由記述欄において、「どの先生も子どもの名前を覚えてくれている、声をかけてくれる」という記述が多数見られることは、子ども・保護者が共にポプラ保育園の保育に好感を持っていることの証と言えるでしょう。

3. 【さらなる「働きやすさ」・「定着」への提供について】

「子ども一人ひとりを大切に（する）」という理念は、法人の設立者が元々抱いていた理念であり、それが創立時の職員に伝えられ、かつ代々継承されているものです。この良き理念を受け継いでいくために文字通り、保育士が全ての子どもに目を向けられるような人的ゆとりがあること、また職員が安心して職務に専念できるような処遇及び労働環境を整えることが大切だと思われまます。現時点で、例えば、(1)職員休憩室を設置すると共に、休憩時間をしっかり取得する、(2)互いに意見が言いやすいオープンな雰囲気を持続する、(3)研修担当や交流担当等のリーダー職を新設し、中堅保育士に活躍の場を提供する、等様々な人材定着の措置を講じています。今後、こうした措置に加えて、(a)昇給、昇任、昇格の基準をより明確にする、(b)「期待される職員像」を文書化して職員に示す、(c)選択制福利厚生サービス（カフェテリアプラン）に加入する、等も検討し、職員の「この職場で長く働き続けたい」という思いをさらに強めていくような取り組みを追加していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：NPO法人ポプラの会 ポプラ保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回、第三者評価を受審させていただき、職員同士で保育・給食だけでなく、園の運営についても振り返ることで、ポプラ保育園の一員としてさらに理解を深める良い機会となりました。

私たち保育士も日々、子どもたちと向き合う中で、悩むことも多くあります。職員間で連携を取りながら、関わり方を工夫し試行錯誤し、研修等で学びを重ねています。その

中で、保護者アンケートから、職員の励みに繋がる内容が多く、とても有り難かったです。保育内容についてのご理解をいただけるよう努力して発信をしていきたいと思ます。

今後も保護者の皆さまと一緒に、子どもたちの育ちを喜び合い・分かち合い・助け合っ
ていけるよう、より良い保育が提供できるようにしていきたいと思ます。

<評価後取り組んだ事として>

1. アンケートでいただいたご意見を、職員会議等で周知共有し、検討を行いました。
設備面に関しては、できる限り改善できるよう建物のオーナー様に相談しています。

2. 保育業務のICT化を進め、日々の保育の共有が行いやすいよう、調整を行っています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり